

◆前営業日の相場動向◆

米雇用悪化も利下げ期待の高まりでダウ・S&P500は最高値更新

	10/1	前日比		10/1	前日比		10/1	前日比
日本国債(10年)	1.645%	0.000%	日経平均(円)	44,550.85	-381.78	ドル円	147.07	-0.83
独国債(10年)	2.713%	0.002%	独DAX(pt)	24,113.62	232.90	NY原油	61.78	-0.59
米国債(10年)	4.098%	-0.052%	NYダウ(ドル)	46,441.10	43.21	NY金	3,867.50	26.70

【ポイント】

- **日本株は下落**：朝方公表された日銀短観は企業活動の底堅さを示す内容となり、日銀の利上げ観測を高め、株式市場には重しとなった。また、概ねコンセンサス通りではあるものの、米国の政府機関の一部閉鎖が決定したことを受けて米国株の先物が調整したことも嫌気された。日経平均は一時600円近く下落する場面も見られた。
- **米国株は上昇**：政府機関の一部閉鎖や雇用指標の悪化を受けて売りが先行。しかし、利下げ観測の高まりを背景に上昇に転じた。政府機関一部閉鎖についても短期で解決との見方は根強く、NYダウとS&P500は最高値を更新した。
- **米金利は低下**：ADP雇用統計が予想を下回ったことで雇用の減速感強まり、政策金利の影響を受けやすい中短期金利を中心に金利は低下。
- **ドル円は下落**：政府機関一部閉鎖、雇用指標の悪化などを手掛かりに下値を探る展開。一時146.59円まで下落するが、株式市場が堅調に推移する中、下げ幅は縮小。

【主な材料】

- 米9月ADP雇用統計：前月比▲3.2万人（市場予想+5.1万人、8月▲3千人）
- 米9月ISM製造業景況感指数 49.1（市場予想49.0、8月48.7）

◆本日の見通し◆

日銀利上げ観測がくすぶるなか、雇用悪化を受け、ドル円下落・米金利低下を予想

予想レンジ

日本株 ↘ 44,300-45,000

米金利 ↘ 4.00-4.15

ドル円 ↘ 146.00-147.50

- **日本株**は下落を予想。海外時間で日本株先物は反発しているものの、週末の総裁選の不透明感がある中、積極的な買い手に乏しい。
- **米金利**は低下を予想。チャレンジャー社の解雇統計で解雇者数の増加が確認され、4%の節目を試す展開を想定。
- **ドル円**は下落を予想。日銀利上げ観測と米金利低下につられ、146円の節目を試そう。

◆本日の注目ポイント◆

10月利上げの判断材料

- 本日、日銀の内田副総裁が講演を行う。9月会合では2名が利上げを主張し、「利上げスタンスへの回帰で実質金利の調整が可能」との意見も出た。ハト派の野口委員も利上げに言及し、10月利上げの織り込みは10/1時点で7割弱に達した。
- 昨日の短観では業況判断は予想通りだったが、2025年下期見通しの減益幅拡大が確認され、利上げ決定には至らなかったとみられる。
- 本日の内田副総裁講演に加え、明日の植田総裁講演、週末の自民党総裁選・支店長会議も利上げ時期を見極める材料となる。（担当：谷谷）

【日銀高官の発言予定など】

日付	材料
10/2 15:35	内田副総裁 (全国証券大会)
10/3 10:05	植田総裁 (大阪経済4団体共催懇談会)
10/4	自民党総裁選
10/6	支店長会議

日付	材料
10/16	田村審議委員 (沖縄)
10/17	内田副総裁 (全国信用組合大会)
10/20	高田審議委員 (中国経済連合会)
10/21	氷見野副総裁 (ユーラシアグループイベント)

出所：日銀HP, Bloomberg

	イベント	注目点
10/4	自民党総裁選	石破首相の後任を決める。出馬するメンバーの中では高市氏がアベノミクス2.0期待で金融市場へのインパクトが強そう。
10/21	氷見野副総裁講演	10/30の日銀政策決定会合を前に日銀高官の講演が相次ぎ、氷見野氏講演が結びとなる。10月利上げの可能性を占う。